

Chapter

02

STUDY PLAN-10K 入学生

○都市創造工学科の教育理念	021
○都市創造工学科の学習・教育目標	022
01.履修申請	025
02.成績表の見方	030
03.「卒業研究」について	031
04.修了要件単位数(外国人留学生も共通)	032
05.卒業見込証明書と卒業/履修要件	033
06.資格取得	046
07.飛び級制度	048

都市創造工学科の教育理念

- I. 人々が平和で幸福な生活をおくることができるように、自然と人間との健全かつ永続的な調和と共生のもとでの都市創造について、幅広く考えることができる技術者を養成する。
- II. 「偉大なる平凡人たれ」の建学精神のもと、自己中心の功利的な考え方を捨て人間社会に貢献できることを基本とし、都市創造工学が社会に与える影響力の重要性和技術者の社会的責任とを理解・自覚し、かつ良識と高い倫理感をもつ技術者を養成する。
- III. 大都市圏の中核である大阪に立地する本学の特性を踏まえ、地域の発展を目指し、都市基盤の構築・再生、都市環境の創生・保全、自然災害に強い都市構造の形成及び循環型社会の構成に寄与する能力をもつとともに、国際的な視野をもって活動できる技術者を養成する。
- IV. 社会全体の変化、都市創造・再生や環境に対する社会の考え方に柔軟に対応しつつ、自主的に課題を探求し、周りにも働きかけ、自らも解決策を見出し実践することを念頭に置き、実務的な事柄を着実に遂行できる技術者を養成する。

都市創造工学科の学習・教育目標

(A)「多面的学習能力」

人類の豊かな生活と幸福を求めて活動することを目ざして、地球的視点から考えることができる多面的な学習能力を身につける。

- (A-1) 社会における人間の役割と活動のあり方を価値観の異なる他者の視点も含めた広い立場から理解し、説明できる。
- (A-2) 地球環境保全、資源・エネルギー循環の観点から都市創造工学について理解し、説明できる。

(B)「技術者倫理」

技術が自然・環境へ与える影響と社会的責任とを理解・自覚し、技術者倫理の重要性を説明できる。

- (B-1) 自然との共生の重要性、土木工事が自然・環境へ与える影響及び土木技術者への社会からの要請について理解し、技術者としてのモラルを説明できる。
- (B-2) 技術者がもつべき高い倫理意識を身につけ、実践の場で自律的かつ適正な行動をとるための判断ができる。

(C)「総合基礎学力」

自然科学・情報処理の基礎を習得するとともに、人文・社会科学の基礎についても深く理解する。

- (C-1) ①数学に関する基礎学力、②物理学を主とする自然科学の基礎学力、及び③コンピューターや情報処理技術に関する知識と活用方法を習得する。
- (C-2) 社会、歴史、文化、科学的なものの考え方、価値観など人文・社会科学に関する幅広い知識と考え方を習得する。

(D)「専門基礎学力」

構造力学、建設材料学、地盤工学、水工水理学、土木計画学・交通システム工学、環境工学の各分野の専門基礎学力を身につける。

- (D-1) 構造力学関連の専門基礎学力を身につける。
- (D-2) 建設材料学関連の専門基礎学力を身につける。
- (D-3) 地盤工学関連の専門基礎学力を身につける。
- (D-4) 水工水理学関連の専門基礎学力を身につける。
- (D-5) 土木計画学・交通システム工学関連の専門基礎学力を身につける。
- (D-6) 環境工学関連の専門基礎学力を身につける。

(E)「専門応用学力」

実験、実習並びに演習等を通じて専門応用学力を身につける。

- (E-1) 実験、実習技術を一連の作業を通じて習得するとともに計画・遂行、結果の解析・考察を自ら行い、応用的問題を解決することができる。
- (E-2) 土木工学が扱う基本的な計算・設計に関する演習課題に取組み、問題を分析・解決する能力を養い、実際の問題に応用することができる。

(F)「デザイン能力」

土木工学分野での諸々の問題に取組み、実現可能な解を見つけ出していくためのデザイン能力を習得する。

- (F-1) 社会のニーズに合った課題の設定、計画、設計・施工、新しいシステムの提案、設計など一連の作業を全体構想の中で取組み、成果を正しく解析し表現できる。
- (F-2) 解が1つでない課題について、総合基礎学力、専門基礎学力、専門応用学力と応用技術をもって解を見出すことができる。

(G)「コミュニケーション能力」

論理的かつ客観的な記述、プレゼンテーション及びディベートを行うことができる。

- (G-1) 情報発信活動を積極的かつ円滑に行うための日本語による記述、プレゼンテーション及びディベートを行うことができる。
- (G-2) 英語を主とする外国語を用いて基本的なコミュニケーションを行うことができる。

(H)「自主的・継続的学習能力」

社会の変化に柔軟に対応し、自主的、継続的に学習できる。

- (H-1) 都市創造に関する最新の情報や具体的な実施事例を学び、自発的学習の習慣を身に付ける。
- (H-2) 社会の変化に対応して新たな知識や情報を自ら入手し、自主的、継続的に学習できる能力を習得する。

(I)「計画的学習能力」

与えられた制約のもと、課題に対して自立して計画的に取組み、期限内に成果をまとめることができる。

- (I-1) 調査、計画、実行、解析、考察、結論の各プロセスに対して、計画的に進め、期限内に成果をまとめることができる。
- (I-2) 与えられた課題をグループ作業を通じて計画的に遂行し、協調性とリーダーシップ力を養う。

(J)「地域実践能力」

大阪を中心とする関西地域の実情に応じた都市基盤の再生・創造技術について学び説明できる。

- (J-1) 地域の地盤、構築物、交通、環境などに関わる歴史的、地域的特性を理解できる。
- (J-2) 地域の都市創造技術や建設工事の実例について学び、説明できる。

【履修指導】

都市創造工学科では、学生が『学習・教育目標』を達成するために、都市創造工学科のカリキュラム履修モデル表を示し、卒業までに総合教養科目と専門教育科目をバランス良く履修し、単位修得できるよう履修指導します。

【科目履修および単位修得についての留意事項】

- ①単位の修得にあたっては、講義科目は2／3以上、実験・実習・演習科目は3／4以上の出席を前提条件としています。
- ②卒業研究は、3回生で修了時における修得単位数が所定の単位に満たない場合には受講できません。卒業研究は必修科目ですので、充分注意してください。
- ③都市創造工学科では、学科の学習・教育目標に基づき修了要件の科目を指定し、学習保証時間を定めております。科目履修は学科教員の指導のもとに履修申請をしてください。
- ④建設材料実験、土質実験、水理実験、衛生実験は3年次で必ず履修し単位を修得してください。
- ⑤都市創造工学科のカリキュラム履修モデル表を参照してください。
- ⑥学習保証時間の確保のために、前期・後期ともに最低15週（回）の授業（試験含む）を行います。
- ⑦基礎科目（数学、物理学、化学）を履修する学生は1年次前期に単位を修得すること。未修得の場合4年間で卒業できないこともあります。
- ⑧卒業研究の論文着手条件として、11月末までのゼミナール、中間発表の出席率80%以上とする。
- ⑨卒業研究は、学習保証時間を満した学生について、研究室における日常の学習・研究・ゼミナール活動、および論文構成、プレゼンテーション能力をもって評価する。

土木・環境総合コース修了者のみ

都市創造工学科は、『学科の教育理念』の基に日本技術者教育認定機構（*JABEE）の認定基準を満足するような『学科の学習・教育目標』を定め、2006年度にJABEE認定を受けました。

- * JABEEとは日本技術者教育認定機構（Japan Accreditation Board for Engineering Education）のことで、1999年11月に設立されました。同機構は「日本技術者教育認定制度」を定めています。これは、大学など高等機関で実施されている技術者教育プログラムが、社会の要求水準を満たしているかどうかを外部機関が公平に評価し、要求水準を満たしている教育プログラムを認定する専門認定制度です。

JABEEの認定基準

- ・基準1 学習・教育目標の設定と公開
- ・基準2 学習・教育の量
- ・基準3 教育手段
- ・基準4 教育環境
- ・基準5 学習・教育目標の達成
- ・基準6 教育改善
- ・補足 分野別要件（土木および土木関連分野）

これらの基準は学科の教育プログラムがありとあらゆる視点から審査を受けて認定されます。特に、学習保証時間に関しては厳格な基準が決められています。

JABEE基準（2010年版）の授業時間

- ・授業時間の総計が1600時間以上
- ・人文科学、社会科学等（語学教育を含む）の学習250時間以上
- ・数学、自然科学、情報技術の学習250時間以上
- ・専門分野の学習900時間以上

- * JABEE認定されますと、技術士の一次試験が免除されるという大変大きな特典が得られることになります。

01. 履修申請

- ・「履修申請」とは、自分が受けたい授業科目を申込むことです。
- ・「履修申請」は、本年度の学習方針を決定するだけでなく、次年度以降の履修にも影響しますので、履修制限等をよく読んで、自分の時間割の計画を立てて申請してください。
- ・大学では必修科目等を除いて、一定の枠の中から受けたい科目を選択できるようになっています。
- ・申請期限までに所定の手続きを行わなかったり、間違ったりすると、授業に出席して、試験を受けても単位が認められないので、慎重に行ってください。
- ・申請の手順については別に配布するWeb履修申請ガイドをご覧ください。

(1) 履修計画における注意点

- ①履修する科目を選ぶために、事前に「Webシラバス」をよく読んでください。
- ②各時間帯に開講されている授業科目の中から自分が受けたい科目を選び、選んだ科目を各自で履修申請してください。学生1人1人の時間割の内容は、同じ学部・学科であっても違ったものになります。
- ③同じ学部・学科でも、コースによって選択すべき科目が異なります。各コースの履修要件、卒業要件をよく読んで履修計画を立ててください。
- ④卒業資格最低単位数（卒業要件単位数）を充足できるよう重点をおいてください。
- ⑤申請する前に、学籍番号などによって指定されているクラス等を確認してください。
- ⑥各ガイダンスには必ず参加してください。
- ⑦既に単位認定を受けた科目を、再度履修することはできません。

(2) 専門教育科目

1年次から各年次ごとに実験、実習、演習が開講されています。これらの科目は、2～3時限連続で開講されるものもあります。配当年次で修得できないと、次年度の必修科目と重複する場合がありますので注意してください。

(3) 手続き方法

①履修計画を立てる

配付資料に基づき履修計画を立て、Web履修申請ガイド巻末にある「時間割下書き用紙」に記入します。また、履修したい講義がクラス登録科目である場合には、同じく巻末にある「クラス登録応募下書き用紙」に記入します。講義科目の中には、学籍番号や学年により履修が制限されているもの、履修する講義が予め指定されているもの、抽選により履修者を決定するもの、プレイメントテストの結果により履修指示が為されるもの等、さまざまなタイプがあります。これらの情報は、講義時間割の備考欄等に記載されています。

②登録手続き（3つの期間（順序）に分けて行う）

a. クラス登録科目応募

抽選により履修者を決定するタイプの科目は、履修申請に先立ち応募受付を行い、抽選処理を行います。抽選の結果、当選した場合に限り履修することができます。なお、当選した講義（クラス）は履修を取り消すことができません。詳細は、巻末の「クラス登録応募下書き用紙」をご覧ください。

b. 本申請

履修計画（下書きした時間割）に基づいて、コンピュータを操作し講義を登録してください。申請画面を開くと履修可能な講義が表示されています。（内容は学生ごとに異なります。）同時に、抽選により受講を許可された講義と既決履修講義が表示されています。これらの講義は、取り消すことができません。なお、期間内なら何度でも登録内容を変更することができます。登録が完了したら内容を印刷し、保管しておいてください。

c. 修正

登録した講義を修正（追加、削除）することができます。但し、抽選により履修が決定した講義、既決履修講義は取消できません。修正が完了したら、必ず登録内容を印刷してください。

【クラス登録の要領について】

- ・講義時間割の科目名左側に「●」「○」「◎」印がある講義の履修を希望する場合は、本申請に先立ちクラス登録が必要です。
- ・クラス登録は、応募受付⇒抽選⇒発表（本申請時には、当選した科目が画面に自動表示されています。）の順で行われます。
- ・当選した講義はキャンセルすることができません。また、はずれた方は、本申請期間または修正期間に残席がある場合に限り先着順で登録できます。

③言語文化科目

- ・担当教員は、後日掲示でお知らせします。決定した担当教員のクラスで履修申請をしてください。
- ・TOEICクラスの受講は、事前に実施した学力テストの基準に達した学生に限ります。
- ・第1希望にもれた場合は、同一曜日・時限の別のクラスに割当てられることがあります。
- ・新入生の英語については、プレイメントテストの結果発表に従って履修申請してください。履修を希望しない場合は、予め教務課に申し出てください。

④身体科学科目

- ・再履修者は、再クラスでの登録となります。
- ・リハビリコースクラスは、怪我などで運動に制限がある学生が対象となります。
- ・体育研究室からの注意事項は次の通りです。

〈体育研究室からのお願い〉

受講時の注意

- ① 出欠席を厳しくとります。身体科学科目が半期科目（前期で終了または後期で終了）の場合は、半年に3回までの欠席は認めますが、4回以上欠席した学生は不合格となり単位は認定されません。
- ② 「スポーツ科学」や「運動科学」は、講義日の3/4以上の出席が必要です。
- ③ 「スポーツ科学実習」について
 - ・服装は、運動服であれば高校で使ったもので差し支えありません。
 - ・運動服には、白い布に学籍番号と氏名を書いて左腕と右尻に縫い付けてください。
 - ・体育館内のコースを受講する学生は、運動靴に赤線を入れて室内専用に使ってください。
 - ・テニスコースを受講する学生は、テニスシューズを使用してください。
 - ・ロッカー使用の場合には、各自指定番号の鍵を使用し、授業時間ごとに借り出し、授業終了後ただちに返却してください。
- ④ 本科目の受講の指示は掲示で行いますから、体育館の掲示板を見るよう心掛けてください。
- ⑤ 前・後期両方とも同じ種目を取らないようにしてください。ただし、抽選で前・後期とも同じ種目になった場合は受講してください。
- ⑥ 「ボウリング」、「ゴルフ」は、ゲーム代等別途費用がかかります。

(4) 自由科目

他学部（自分の所属する学部以外）および他学科（自分の所属する学科以外）の専門教育科目（人間環境学部は展開科目）を、卒業までに30単位まで履修することができます。そのうち4単位までを、専門教育科目の選択科目として、卒業要件単位に算入することができます。（これを「自由科目」と称します。）ただし、履修の認められない科目がありますので下表で確認してください。

自由科目を履修したい人は、Webシラバスを熟読のうえ選択してください。

自由科目は、Web履修申請画面で確認できる（表示されている）科目から選択してください。

都市創造工学科			
他学部	他学科	卒業要件に認められる単位	自由科目として扱わない科目
人間環境	文化コミュニケーション・生活環境・スポーツ健康	4単位	製図、演習、実験、実習、外国書講読、卒業研究 ※その他各学科の事情等により除外する科目
経営	経営・流通		
経済	経済・国際経済		
——	機械工・交通機械工・電子情報通信工・情報システム工・建築・環境デザイン		

(5) 履修制限

都市創造工学科の履修には次のような制限がありますので、注意してください。

10K学生に適用

1年間に履修できる単位数	最大50単位（教職に関する専門教育科目を除く）
学年による科目の制限	1年次：1年次配当科目から選択できます。 2年次：1、2年次の配当科目から選択できます。 3年次：1、2、3年次の配当科目から選択できます。 4年次：すべての開講科目から選択できます。
専門教育科目 工学基礎 ・情報処理科目	(1)「基礎数学および演習」 入学時のプレイスメントテストの結果、「基礎数学および演習」を履修し、単位未修得の学生は後期再クラスを受講できます。 (2)「基礎物理学および演習」 入学時のプレイスメントテストの結果、「基礎物理学および演習」を履修し、単位未修得の学生は後期再クラスを受講できます。 (3)「基礎化学および演習」 入学時のプレイスメントテストの結果、「基礎化学および演習」を履修し、単位未修得の学生は後期再クラスを受講できます。

プレイスメントテストの点数が基準に満たない学生には、「基礎数学および演習」・「基礎物理学および演習」・「基礎化学および演習」を1年次前期に履修することを義務づけています（編入生除く）。いずれも都市創造工学科の科目を学ぶにあたって基礎となる重要な科目です。なお、単位未修得の場合には1年次後期開講の再履修クラスで受講し単位修得すること。単位修得ができない場合には4年間の卒業が困難となることがありますので留意してください。また、基礎科目（数学、物理学、化学）の修得には、「学習支援センター」を大いに利用し基礎学力のアップに努めてください。

総合教育科目	言語文化科目	(1) 修了要件単位は8単位以上（うち英語の修了要件単位を4単位以上）とします。（留学生を除く） (2) ドイツ語、フランス語、中国語を選択する学生は、それぞれ「ドイツ語入門1」、「フランス語入門1」、「中国語入門1」を最初に履修してください。 (3) 留学生は ① 母国語を履修することができません。 ② 日本語8単位を必修とします。
	その他	既に単位認定を受けている科目は、再度履修することはできません。

02. 成績表の見方

- ・発表される「成績表」は、当該年度の前期末または学年末までの成績です。
- ・単位左側の文字の「必」は必修科目、「選必」は選択必修科目、「選」は選択科目を表わします。
- ・成績欄右寄りの評価は「今年度の成績」、中央の評価は「昨年度までの成績」を表わします。
- ・評価・認定は、「S」「A」「B」「C」「D」「T」で判定します。

修得単位数欄

卒業要件単位数	卒業に必要な単位数
修得卒業要件単位数	現在修得している全ての単位のうち卒業要件としてカウントされた単位数
修得総単位数	現在修得している全ての単位数

進級・卒業判定欄

1年次	2年次	3年次	4年次	卒業	4留
1年	2年	3年	4年	卒業できる	卒業延期

来年度欄（3年生以上）

卒見証発行	有	無	
	卒業見込証明書発行可	卒業見込証明書発行不可	
卒研資格	有	無	済
	卒業研究履修資格有	卒業研究履修資格無	卒業研究修得済

※卒業研究の有資格者に卒業見込証明書を発行します。

- ・卒業研究履修資格欄（3年生以上）

学年末に発表する成績表には、次年度の「卒業研究」履修の可否が表示されます。

03. 「卒業研究」について

(1) 「卒業研究」を履修するには？

- ・卒業するためには、「卒業研究」（4年次配当科目）を修得しなければなりません。
- ・「卒業研究」を履修するためには、3年次修了までに履修資格を得ることが必要です。
- ・「卒業研究」の履修について質問や相談がある場合は、Web履修申請する前に教務課で相談してください。
- ・卒業予定者で、時間割上修了要件単位数を満たす履修申請ができない場合も、教務課で相談してください。

(2) 履修資格

「卒業研究」を履修するためには、3年次修了時において次の3つの条件を満たさなければなりません。

- ① 修了要件単位数（124単位）のうち、94単位以上修得している。
- ② 総合教育科目の修了要件（24単位）のうち、20単位以上修得している。
- ③ 専門必修科目の実験、実習および演習の未修得単位が2単位以内（ゆめ育むコース4単位以内）である。

—参考—（「卒業研究」履修資格を得るために必要な科目）

土木・環境総合コース		まちづくりコース		ゆめ育むコース	
科 目 名	単位	科 目 名	単位	科 目 名	単位
測量学実習	②	測量学実習	②	測量学実習	②
建設材料実験	①	まちづくり演習1	②	ゆめ育む特別演習1	④
土質実験	①	まちづくり演習2	②	ゆめ育む特別演習2	④
水理実験	①	まちづくり演習3	②	ゆめ育む特別演習3	④
衛生実験	①	まちづくり演習4	②		
都市創造デザイン4	①				

04. 修了要件単位数（外国人留学生も共通）

卒業するためには、以下の2つの条件を満たさなければなりません。

- ①4年間（編入生は2年間）以上在学
休学期間は在学年数に含まれません。したがって、半期でも休学すると4年（編入生は2年）で卒業することができません。
- ②学科で定められた卒業要件単位124単位以上（編入生は別途定める）を修得
カリキュラム上、区分ごとに卒業要件に必要な単位数が異なります。履修の仕方によっては単位を修得しても卒業要件単位に入らない場合がありますので、注意してください。

修了要件単位 124単位

総合教育科目	教養教育科目	表現力基礎演習（全員履修）		指定選択科目の中から6科目以上を含む	24単位以上	124単位	学士（工学）	
		人 文 社 会 分 野 社 会 科 学 分 野 自 然 科 学 分 野 学 際 領 域 分 野						
		日本文化（留学生に限る）						（必須4科目）
	言語文化科目	英 語（4単位以上）		指定する科目の中から8科目以上を含む	8単位以上			
		初修外国語	ド イ ツ 語 フ ラ ン ス 語 中 国 語					
		日 本 語（留学生に限る）						（必須8科目）
		身 体 科 学 科 目						指定する科目の中から2科目以上
	専門教育科目	専門の各分野で指定する科目の中から修得（自由科目4単位を含む。）			92単位以上			
4 年 以 上 在 学								

※ゆめ育むコースにおいては自由科目16単位、コース広域科目24単位を含む。

単位修得にあたっての留意事項

- ①単位の修得にあたっては、講義科目は2／3以上、実験・実習・演習科目は3／4以上の出席を最低条件としています。
- ②都市創造工学科では、学科の学習・教育目標に基づき修了要件の科目を指定し、学習保証時間を定めております。
- ③科目履修は学科教員の指導のもとに履修申請をすること。
- ④学習保証時間の確保のために、前期・後期ともに最低15週（回）の授業（試験を含む）を行います。
- ⑤15週（回）を確保するため、学年暦にかかわらず補講を行います。
- ⑥留学生は、教養科目分野の日本語文化および言語文化科目の日本語を必修とする。ただし、「表現力基礎演習」については、随時選択科目とする。
- ⑦基礎科目を履修する学生は1年次前期に単位を修得すること。未修得の場合4年間で卒業できないこともあります。

05. 卒業見込証明書と卒業／履修要件

(1) 「卒業研究」と「卒業見込証明書」

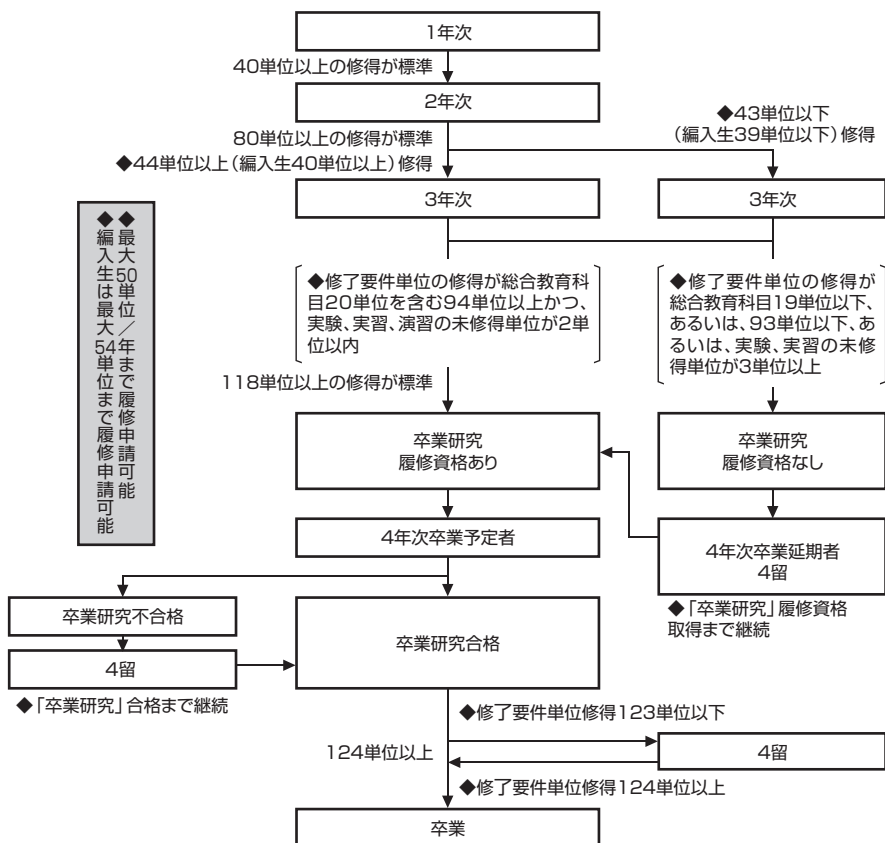
「卒業研究」の履修資格を得た学生を、卒業予定者と呼び、4年次になった4月から卒業見込証明書の交付を受けることができます。

卒業見込証明書は、就職活動のために訪れる企業などに提出するものです。必要な人は、証明書自動発行機（本館1階、13号館1階）を利用してください。

(2) 進級の条件

修得単位数に関する履修制限はありませんので、4年次まで進級は可能です。しかし、3年次修了時点で卒業研究履修資格の条件を満たしていなければ、4年間では卒業できなくなります。

なお、1年間で最大50単位の履修制限がありますので、計画的に修学してください。



(3)都市創造工学科の学習・教育目標達成のための卒業までの修了要件 (総合教育科目)

□指定選択必修科目 ●留学生必修科目

分野	科目名称	開講 年次	単位	学習・教育目標の 修了要件科目数	備考
総合教育科目	表現力基礎演習	1前	2	指定選択必修12科目(□)の中から「心理学」・「倫理学」・「文学」・「経済学の基礎」の中から1科目以上とし、他の指定選択必修科目(□)と合わせて6科目以上	□
	人文科学 文 学	1前	2		□
	心理学	1前	2		□
	哲学	1前	2		
	社会思想史	1前	2		
	論理学	1前	2		
	社会科学 日本国憲法	1後	2		□
	現代の政治	1後	2		□
	経済学の基礎	1後	2		□
	地理学	1後	2		□
	近代史	1後	2		
	物質科学	1前	2		□
	宇宙科学	1前	2		
	生命科学	1前	2		
	環境科学	1前	2		□
	現代数学入門	1前	2		
	学際領域 科学技術史	1後	2		□
	外国の社会と文化	1後	2		□
	倫理学(工業倫理を含む)	1後	2		□
日本文化	時事問題	1後	2	留学生は左記4科目を全て修得	
	平和学	1前	2		
	日本事情 1	1前	②		●
	日本事情 2	1後	②		●
	日本の社会と文化 1	1前	②		●
	日本の社会と文化 2	1後	②		●
	身体科学科目 スポーツ科学実習 1	1前	1		□
	スポーツ科学実習 2	1後	1		□
身体科学科目	スポーツ科学	2前	2		
	運動科学	2後	2		

(1)1年間の履修制限 50単位

(2)卒業要件単位には必修科目、指定選択必修(□印)科目のみ算入される。

(3)3年次修了時で総合教育科目20単位を修得していない場合は卒業研究に着手できない。

(4)3年次修了時で卒業要件93単位以下は卒業研究に着手できない。

分野	科目名称	開講 年 期	単 位	学習・教育目標の 修了要件科目数	備考
言語文化科目	英語 (Listening&Speaking) 1	1前	1	指定選択必修科目(□)の中から 英語を4科目以上を含む8科目 以上	☐
	英語 (Listening&Speaking) 2	1後	1		☐
	英語 (Listening&Speaking) 3	2前	1		☐
	英語 (Listening&Speaking) 4	2後	1		☐
	TOEIC上級 (Listening) 1	2前	1		☐
	TOEIC上級 (Listening) 2	2後	1		☐
	英語 (Reading&Writing) 1	1前	1		☐
	英語 (Reading&Writing) 2	1後	1		☐
	英語 (Reading&Writing) 3	2前	1		☐
	英語 (Reading&Writing) 4	2後	1		☐
	TOEIC上級 (Reading) 1	2前	1		☐
	TOEIC上級 (Reading) 2	2後	1		☐
	英 語 総 合 上 級 1	3前	1		
	英 語 総 合 上 級 2	3後	1		
	英 語 海 外 研 修 (集 中)	2集	2		☐
	ド イ ツ 語 入 門 1	1前	1		☐
	ド イ ツ 語 入 門 2	1後	1		☐
	ド イ ツ 語 初 級 1	2前	1		☐
	ド イ ツ 語 初 級 2	2後	1		☐
	ド イ ツ 語 総 合 1	3前	1		
	ド イ ツ 語 総 合 2	3後	1		
	ドイツ語海外研修(集中)	2集	2		
	フ ラ ン ス 語 入 門 1	1前	1		☐
	フ ラ ン ス 語 入 門 2	1後	1		☐
	フ ラ ン ス 語 初 級 1	2前	1		☐
	フ ラ ン ス 語 初 級 2	2後	1		☐
	フ ラ ン ス 語 総 合 1	3前	1		
	フ ラ ン ス 語 総 合 2	3後	1		
	フランス語海外研修(集中)	2集	2		
	中 国 語 入 門 1	1前	1		☐
	中 国 語 入 門 2	1後	1		☐
	中 国 語 初 級 1	2前	1		☐
	中 国 語 初 級 2	2後	1		☐
	中 国 語 総 合 1	3前	1		
	中 国 語 総 合 2	3後	1		
	中国語海外研修(集中)	2集	2		

分野		科目名称		開講 年期	単位	学習・教育目標の 修了要件科目数	備考
言語 文化 科目	日本語	日 本 語 読 解 1	1 前	①	留学生は左記8科目を全て修得	●	
		日 本 語 読 解 2	1 後	①		●	
		上 級 日 本 語 読 解 1	2 前	①		●	
		上 級 日 本 語 読 解 2	2 後	①		●	
		日 本 語 作 文 1	1 前	①		●	
		日 本 語 作 文 2	1 後	①		●	
		上 級 日 本 語 作 文 1	2 前	①		●	
		上 級 日 本 語 作 文 2	2 後	①		●	

(4)都市創造工学科の学習・教育目標達成のための卒業までの修了要件 (専門科目)

◎必修科目 □指定選択必修科目

分野	科目名称	開講 年次	単位	総合	まち づくり	ゆめ	学習・教育目標の 修了要件科目数	
工学基礎・ 情報処理	基礎数学および演習	1前	3	□	□		必修科目(◎) および「工学 基礎数学1」・ 「工学基礎数 学2」から1科 目以上、「基礎 物理学および 演習」・「物理 学」・「物理学 実験」から2科 目以上を含む 9科目以上	※
	解析・代数学1および演習	1前	3	□	□			※
	解析・代数学2および演習	1後	3	◎	□			※
	解析・代数学3および演習	2前	2	□				
	工学基礎数学1	2後	2	□				
	工学基礎数学2	3前	2	□				
	基礎物理学および演習	1前	2	□				※
	物理学	1前	2	□				※
	物理学実験	1前	2	□				(全員履修ゆめコース除く)
	基礎化学および演習	1前	2	□				※
	一般化学	1前	2	□				※
	化学実験	1前	2	□				
	コンピュータ基礎	1後	2	◎	◎	□		
	コンピュータ応用1	2前	2	◎	◎	□		(全員履修ゆめコース除く)
専門導入・ 基礎	コンピュータ応用2	2後	2	□	□	□		
	コンピュータ設計演習(設計製図含む)	3後	3	□		□		
	都市創造入門セミナー	1前	1	◎	◎	□	必修科目(◎) を含む8科目 以上	(全員履修ゆめコース除く)
	学習リテラシー1	1前	1	□	□	—		(全員履修ゆめコース除く)
	学習リテラシー2	1後	1	□	□	—		(全員履修ゆめコース除く)
	フィールドワーク1	1前	1	□	□	—		(全員履修ゆめコース除く)
	フィールドワーク2	1後	1	□	□	—		(全員履修ゆめコース除く)
	測量学1	1前	②	◎	◎	◎		(全員履修ゆめコース除く)
	測量学2	1後	2	□	□	□		(全員履修ゆめコース除く)
	測量学実習	2通	②	◎	◎	◎		
	地球科学	1前	2	□	□	□		(全員履修ゆめコース除く)
	環境生態	1後	2	□	□	□		(全員履修ゆめコース除く)

※4年間で卒業するためには、プレイスメントの結果、指定された科目の単位は1年次で必ず修得すること。
(ゆめ育むコースを除く)

分野	科目名称	開講 年次	単位	総合	まち づくり	ゆめ	学習・教育目標の修了要件科目数
建設 材料 学	建 設 材 料 1	2 前	2	◎		☐	必修科目(◎)を含む3科目以上
	建 設 材 料 2	2 後	2	☐		☐	
	建 設 材 料 実 験	3 半	1	◎		☐	
	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト	3 前	2	☐		☐	
	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 演 習	3 前	2	☐		☐	
	舗 装 工 学	3 前	2	☐		☐	
構 造 力 学	つ り あ い の 力 学	2 前	2	☐		☐	必修科目(◎)を含む3科目以上
	構 造 力 学 1	2 後	2	◎		☐	
	構 造 力 学 2	3 前	2	☐			
	構 造 力 学 演 習	2 後	2	☐		☐	
	橋 梁 工 学	3 後	2	☐		☐	
	骨 組 構 造 力 学	3 後	2	☐		☐	
土 質 力 学	土 の 力 学	2 前	2	☐		☐	必修科目(◎)を含む3科目以上
	土 質 力 学 1	2 後	2	◎		☐	
	土 質 力 学 2	3 前	2	☐			
	土 質 力 学 演 習	2 後	2	☐		☐	
	土 質 実 験	3 半	1	◎		☐	
	地 盤 工 学	3 後	2	☐		☐	
水 工 水 理 学	流 れ の 力 学	2 前	2	☐		☐	必修科目(◎)を含む3科目以上
	水 理 学 1	2 後	2	◎		☐	
	水 理 学 2	3 前	2	☐		☐	
	水 理 学 演 習	2 後	2	☐		☐	
	水 理 実 験	3 半	1	◎		☐	
	河 川 工 学	3 前	2	☐	☐	☐	
	海 岸 工 学	3 後	2	☐	☐	☐	

分野	科目名称	開講 年次	単位	総合	まち づくり	ゆめ	学習・教育目標の修了要件科目数
土木計画・交通システム工学	土木計画学	3前	2	◎	□	□	必修科目(◎)を含む3科目以上
	交通工学演習	3後	2	□		□	
	情報社会基盤学	3後	1	□	□	□	
	交通システム工学	2後	2	◎	□	□	
	都市計画	2前	2	□	□	□	
	地域計画	2後	2	□	□	□	
	都市創造景観	3前	2	□	□	□	
	道路交通工学	2後	2	□	□	□	
環境工学	環境工学 1	2前	2	◎	□	□	必修科目(◎)を含む3科目以上
	環境工学 2	2後	2	□	□	□	
	衛生実験	3半	2	◎		□	
	環境システム	3前	2	□	□	□	
	資源リサイクル	3後	2	□	□	□	
土木・環境	建設施工学	3前	2	□		□	必修科目(◎)および「建設施工学」・「特別講義1」・「建設マネジメント」から2科目以上を含む5科目以上
	建設マネジメント	3後	2	□		□	
	防災工学	3後	2	□	□	□	
	地震工学	3後	1	□		□	
	地域創造学	2後	2	◎	◎	□	
	工学英語	3前	2	◎	◎	□	
	工学倫理	2前	2	◎	◎	□	
デザイン	都市創造デザイン 1	2前	2	□		—	必修科目(◎)を含む3科目以上
	都市創造デザイン 2	2後	2	◎		—	
	都市創造デザイン 3	3前	1	□		—	
	都市創造デザイン 4	3後	2	◎		—	
	キャリアデザイン	3後	2	◎	◎	□	

分野	科目名称	開講 年 期	単 位	総 合	ま ち づ く り	ゆ め	学習・教育目標の修了要件科目数
スキル 支 援	特 別 講 義 1	3 後	2	□		□	
	特 別 講 義 2	3 前	2	□		□	
	特 別 講 義 3	3 後	2				
	特 別 講 義 A	3 前	2				
	特 別 講 義 B	3 後	2				
	建 築 学 概 論	3 前	2				
	建 設 法 規 1	3 前	2				
	建 設 法 規 2	3 後	2				
ま ち づ く り	ま ち づ くり 論 1	2 前	2		□		
	ま ち づ くり 論 2	2 後	2	—	□	—	
	ま ち づ くり 論 3	3 前	2	—	□	—	
	ま ち づ くり 演 習 1	2 前	2	—	◎	—	
	ま ち づ くり 演 習 2	2 後	2	—	◎	—	
	ま ち づ くり 演 習 3	3 前	2	—	◎	—	
	ま ち づ くり 演 習 4	3 後	2	—	◎	—	
ゆ め 育 む	ゆめふくらむテーマ科目1	1 前	2	—	—	◎	
	ゆめふくらむテーマ科目2	1 後	2	—	—	◎	
	ゆめふくらむテーマ科目3	2 前	2	—	—	◎	
	ゆめふくらむテーマ科目4	2 後	2	—	—	◎	
	ゆめ育むコース特別演習1	1 通	4	—	—	◎	
	ゆめ育むコース特別演習2	2 通	4	—	—	◎	
	ゆめ育むコース特別演習3	3 通	4	—	—	◎	
	ゆめ育むコース特別演習4	4 通	4	—	—	◎	
卒 研	卒 業 研 究	4 通	6	◎	—	—	必修1科目のみ
	卒 業 演 習	4 通	4	—	◎	—	

(5)都市創造工学科カリキュラム履修モデル表(学科の学習・教育目標に基づく)

分野		1年次		2年次		3年次		4年次		備考
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
教育 基礎 教育 科目	表現力基礎演習※ (表現力基礎演習※)									●留学生必修科目 ※印は、1年次全員履修科目
	文学			(文学)						
	心理学			(心理学)						
	日本国憲法			(日本国憲法)						
	経済学の基礎			(経済学の基礎)						
	現代の政治			(現代の政治)						
	地理学			(地理学)						
教育 基礎 教育 科目	物質科学			(物質科学)						左記12科目のうち「心理学」・「倫理学」・「経済学の基礎」・「文学」から1科目以上とし、他の科目とあわせて6科目以上
	環境科学			(環境科学)						
	科学技術史			(科学技術史)						
	倫理学(工業倫理含む)			(倫理学(工業倫理含む))						
	外国の社会と文化			(外国の社会と文化)						
	●日本事情1			●日本事情2						
	●日本の社会と文化1			●日本の社会と文化2						
言語文化 科目	英語L&S1			英語L&S2						留学生は左記4科目を全て修得
	英語R&W1			英語R&W2						
	TOEIC上級(L)1			TOEIC上級(L)2						
	英語R&S3			英語R&S4						
	TOEIC上級(R)1			TOEIC上級(R)2						
	英語海外研修									
	ドイツ語入門1			ドイツ語初級1						
言語文化 科目	フランス語入門1			フランス語初級1						左記外国語のうち英語4科目以上とし、他の1言語とあわせて8科目以上
	中国語入門1			中国語初級1						
	●日本語読解1			●日本語読解2						
	●日本語作文1			●日本語作文2						
	スポーツ科学実習1			スポーツ科学実習2						
	上級日本語読解1			上級日本語読解2						
	上級日本語作文1			上級日本語作文2						
身体科学 科目	上級日本語読解1			上級日本語読解2						留学生は左記8科目を全て修得
	上級日本語作文1			上級日本語作文2						
	上級日本語読解1			上級日本語読解2						
	上級日本語作文1			上級日本語作文2						
	上級日本語読解1			上級日本語読解2						
	上級日本語作文1			上級日本語作文2						
	上級日本語読解1			上級日本語読解2						

・総合教育科目のうち、上記(指定選択必修)科目のみ卒業要件単位に算入される(ゆめ育むコースを除く)。

・総合教育科目は、3年次修了時点において20単位以上修得すること(卒業研究着手の履修制限)。

・総合教育科目の卒業要件単位数は、言語文化科目(英語4単位以上を含む)8単位以上、かつ24単位以上。

(全コース共通) ※印は、1年次全員履修科目(ゆめ育むコースを除く)

◎必修科目 ○コース必修科目

分野	1年次		2年次		3年次		4年次		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
数学	解析・代数学1 および演習	○解析・代数学2 および演習	解析・代数学3 および演習	○解析・代数学2 および演習	工学基礎数学2		「工学基礎数学1」・「工学基礎数学2」 から1科目以上		必修科目(◎)・コース必修(○)を含む9科目以上
	基礎数学 および演習								
	物理学								
	基礎物理学 および演習	(物理学)							
自然科学		物理学実験※		(物理学実験)					
	一般化学								
	基礎化学 および演習			(一般化学)					
情報処理	化学実験								
		◎コンピュータ基礎※	◎コンピュータ応用	◎コンピュータ応用2					

・4年間で卒業するために、数学、物理、化学のプレイスメントで指定された科目の単位は1年次で必ず修得すること(ゆめ育むコースを除く)。
・前期プレイスメント科目の(数学、物理)単位未修得の学生は、後期の再履修科目を受講すること(ゆめ育むコースを除く)。

都市創造工学科カリキュラム履修モデル表(学科の学習・教育目標に基づく)

(分野)コース	1年次		2年次		3年次		4年次		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
(専門導入・基礎)	新入生ガイダンス※ 学習リテラシー1※ フィールドワーク※ ○測量学実習 ○測量学※ 地球科学※	学習リテラシー2※ フィールドワーク2※ 測量学2※ 環境生態※	○工学倫理 ○建設材料1	○地域創造学 建設材料2	○工学英語 鉄筋コンクリート2 建築工学	○工学英語 ○キャリアデザイン 鉄筋コンクリート2 建築工学			必修科目(○)および「環境生態」、「地球科学」から1科目以上を含む8科目以上
(専攻・共通)									左記科目を全て修得
(建設材料科学)									コース必修科目(○)を含む3科目以上
(構造力学)			つり合いの力学	○構造力学1 構造力学2	○建築材料実験 構造力学2	○建築材料実験 構造力学2			コース必修科目(○)を含む3科目以上
(地盤工学)			土の力学	○構造力学2 土質力学1 土質力学2	○土質力学2 土質力学2	○土質力学2 土質力学2			コース必修科目(○)を含む3科目以上
(水工水理学)			流れの力学	○水理学1 水理学2	○水理学1 水理学2	○水理学1 水理学2			コース必修科目(○)を含む3科目以上
(土木計画・交通システム工学)			都市計画	○交通システム工学 道路交通工学2	○土木計画学 都市創造景観	○土木計画学 都市創造景観			コース必修科目(○)を含む3科目以上
(環境工学)			環境工学1	○環境工学2	○環境工学1 環境工学2	○環境工学1 環境工学2			コース必修科目(○)を含む3科目以上
(スキル支援)									コース必修科目(○)を含む3科目以上
土木・環境総合コース									コース必修科目(○)および「建設施設工学」、「特別講義1」、「建設マネジメント」から2科目以上を含む5科目以上
まちづくりコース			都市創造デザイン1 まちづくり論1 まちづくり論2	○都市創造デザイン2 まちづくり論2 まちづくり論3	○都市創造デザイン3 まちづくり論3 まちづくり論4	○都市創造デザイン4 まちづくり論4 まちづくり論5			コース必修科目(○)を含む7科目以上
ゆめ育むコース [目標はゆめ育むコース の12科目を参照]	○通信教育1※ ゆめくみ(507)7科目 ゆめくみ(507)7科目	○通信教育2※ ゆめくみ(507)7科目 ゆめくみ(507)7科目	○通信教育3※ ゆめくみ(507)7科目 ゆめくみ(507)7科目	○通信教育4※ ゆめくみ(507)7科目 ゆめくみ(507)7科目	○通信教育5※ ゆめくみ(507)7科目 ゆめくみ(507)7科目	○通信教育6※ ゆめくみ(507)7科目 ゆめくみ(507)7科目			必修科目(○)、コース必修科目(○)を全て修得

※印は、1年次全員履修科目(ゆめ育むコースを除く)

○必修科目 ○コース必修科目

・専門教育科目は、3年次修了時点において74単位以上修得すること(卒業研究着手の履修制限は卒業要件単位94単位以上)。

・▲印の科目は、隔年開講。

・土木・環境総合コースの指定修得科目

- ① 構造力学演習、「土質力学演習」、「鉄筋コンクリート演習」、「交通工学演習」、「コンピュータ設計演習」から2科目以上
- ② 資源リサイクル、「都市計画」、「建設マネジメント」、「情報社会基盤学」、「防災工学」、「都市創造景観」から4科目以上
- ③ ▲印の科目から3科目以上

都市創造工学学科カリキュラム履修モデル表 (学科の学習・教育目標に基づく)

※印は、1年次全員履修科目(ゆめ育むコースを除く)										◎必修科目	◎コース必修科目
履修モデルコース	1年次		2年次		3年次		4年次		備考		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
全コース共通 (ゆめ育むコースを除く)	(全コース共通)		◎測量学実習								
土木・環境総合コース	総合教育科目		◎コンピュータ応用1◎地球創造学		◎工学英語 ◎キャリアデザイン						
	(1) 英語文化科目 英語4単位 指定科目		6分野の科目と実験科目を履修								
	(2) 教養教育科目 5単位以上										
	(3) 表現力基礎演習 2単位				◎実験4科目		◎卒業演習				
	(4) 身体科学科目・初修外国語 (5) 留学生は必修科目 12単位		都市創造デザイン1◎都市創造デザイン2 都市創造デザイン3◎都市創造デザイン4 土木計画学・交通システム工学・環境工学分野の科目を主として履修								
(テーマa)	(5) 留学生は必修科目 12単位		土木計画学・交通システム工学・環境工学分野の科目を主として履修								
	専門教育科目										
	(1) 数学・物理・化学のプライスメント 結果に基づき指定科目		まちづくり論1(テーマa)まちづくり論2(テーマa)まちづくり論3(テーマa)		まちづくり論3(テーマa)		◎卒業演習 (テーマa)				
	(2) 物理学実験		建設材料・構造力学・地盤工学分野の科目を主として履修								
	(3) 1年次担当の専門教育科目全科目		まちづくり論1(テーマa)まちづくり論2(テーマa)まちづくり論3(テーマa)		まちづくり論4(テーマa)						
(テーマb)	◎都市創造入門1土木系2 建築系2		まちづくり論1(テーマa)まちづくり論2(テーマa)まちづくり論3(テーマa)		まちづくり論3(テーマa)		◎卒業演習 (テーマb)				
	◎測量学1 測量学2 学習リテラシー2 学習リテラシー2 フィールドワーク1 フィールドワーク2		まちづくり論1(テーマa)まちづくり論2(テーマa)まちづくり論3(テーマa)		まちづくり論4(テーマa)						
	地球科学		6分野の基礎科目と実験4科目を主として履修								
(テーマc)	建設経営コース				◎実験4科目		◎卒業演習 (テーマc)				
					まちづくり論3(テーマc)		◎卒業演習 (テーマc)				
					まちづくり論3(テーマc)		◎卒業演習 (テーマc)				
					まちづくり論3(テーマc)		◎卒業演習 (テーマc)				
					まちづくり論3(テーマc)		◎卒業演習 (テーマc)				
土木・環境総合コース まちづくりコース	土木・環境総合コース } コース決定は、1年次終了時点で 行う		まちづくりコースのテーマ科目(履修申請は、事前に担当教員へ申出が必要) まちづくりコースのテーマ科目は、観光まちづくりコースの指定科目 まちづくり論1a:生活都市計画論 まちづくり論2a:観光論、環境と交通、開発と環境の内から1科目 まちづくり論3a:都市と国土、都市計画の法と制度の内から1科目 (テーマb)科目は、不動産ディベロッパーコースの指定科目 まちづくり論1b:生活都市計画論 まちづくり論2b:開発と環境 まちづくり論3b:都市計画の法と制度 (テーマc)科目は、建設経営コースの指定科目 まちづくり論1c:会計学総論 まちづくり論2c:現代経営入門 まちづくり論3c:経営学総論、経営学概論、経営学概論Bの内から1科目								
ゆめ育むコース	(ゆめ育むコースの「バンドブック」を参照) ◎測量学1 ◎ゆめくろく(テーマ組1)◎ゆめくろく(テーマ組2) ◎ゆめ育むコース特別演習3		(ゆめ育むコースの「バンドブック」を参照) ◎測量学実習 ◎ゆめくろく(テーマ組3)◎ゆめくろく(テーマ組4) ◎ゆめ育むコース特別演習3		(ゆめ育むコースの「バンドブック」を参照) ◎測量学実習 ◎ゆめくろく(テーマ組3)◎ゆめくろく(テーマ組4) ◎ゆめ育むコース特別演習3		(ゆめ育むコースの「バンドブック」を参照) ◎測量学実習 ◎ゆめくろく(テーマ組3)◎ゆめくろく(テーマ組4) ◎ゆめ育むコース特別演習3				

測量士資格取得（都市創造工学科）に関わる科目

区 分	科 目	単 位	最低修得単位数
測量学および実習	測量学1	②	30 単 位 以 上
	測量学2	②	
	測量学実習	②	
測量学を理解し、測量を実行するための基礎科目	工学基礎数学1	②	
	工学基礎数学2	②	
	コンピュータ基礎	②	
	コンピュータ応用1 (CAD)	②	
	コンピュータ応用2 (CAD)	②	
	コンピュータ設計演習 (設計製図含む)	③	
測量の社会的背景、意義、役割の理解と測量の計画・実施に関する指針を得る科目	地域計画	②	
	土木計画学	②	
	都市計画	②	
	地域創造学	②	
	情報社会基盤学	②	
	交通システム工学	②	
	都市創造景観	②	
	建設マネジメント	②	
測量の対象となる地物の特性、設計・施工の実際を理解し、応用測量の計画・実行に関する指針を得る科目	土の力学	②	
	土質力学1	②	
	土質力学2	②	
	地盤工学	②	
	土質力学演習	②	
	土質実験	①	
	建設材料1	②	
	建設材料2	②	
	鉄筋コンクリート	②	
	舗装工学	②	
	鉄筋コンクリート演習	②	
	建設材料実験	①	
	つりあいの力学	②	
	構造力学1	②	
	構造力学2	②	
	骨組構造力学	②	
	構造力学演習	②	
	橋梁工学	②	
	流れの力学	②	
	水理学1	②	
	水理学2	②	
	水理学演習	②	
	水理実験	①	
	河川工学	②	
	海岸工学	②	
	道路交通工学	②	
	交通工学演習	②	
	環境生態	②	
	環境工学1	②	
	環境工学2	②	
	環境システム	②	
	資源リサイクル	②	
	衛生実験	①	
小 計		97	30

06. 資格取得

学科によって、卒業または特定の科目を修得することを条件に資格や免許の取得で優遇されるものがあります。以下の一覧表を参考に履修コースや履修科目を選択してください。

(1) 教員免許状

免許（資格）の種類	対象学科	取得の要件
高等学校教諭一種免許状（工業）	工学部全学科 （情報システム工学科除く）	それぞれの免許に定められた教職教科専門科目と教職専門科目の修得（詳細は教職ガイダンスで説明します。）
高等学校教諭一種免許状（情報）	電子情報通信工学科 情報システム工学科	
高等学校教諭一種免許状（数学）		
中学校教諭一種免許状（数学）		

(2) 学科あるいは特定科目の修得によって認定される資格

資格の種類	認定の内容	対象学科・コース	取得の要件
技術士補	申請による 資格取得	都市創造工学科の 土木・環境総合コース	土木・環境総合コースの修了
二級ガソリン自動車整備士 二級ジーゼル自動車整備士	受験資格 ※実技試験免除	交通機械工学科の 自動車工学コース	特定科目の修得および卒業 ※卒業年次10～3月実施の 「整備技術講習」修了で実技試験免除
電気通信主任技術者 〔 伝送交換主任 線路主任 〕	受験科目 一部免除	電子情報通信工学科	特定科目の修得
電気通信の工事担任者	受験科目 一部免除	電子情報通信工学科	特定科目の修得および卒業
第一級陸上特殊無線技士	申請による 資格取得		
第二級海上特殊無線技士			
1級建築士	受験資格	建築・環境デザイン学科の シビックデザインコース 建築・インテリアデザインコース	特定科目の修得および 卒業後の実務経験（2～4年）

資格の種類	認定の内容	対象学科・コース	取得の要件
2級建築士 木造建築士	受験資格	都市創造工学科の 土木・環境総合コース まちづくりコース 建築・環境でデザイン学科の シビックデザインコース 建築・インテリアデザインコース	特定科目の修得および 卒業後の実務経験（0～2年）
インテリアプランナー	受験資格	建築・環境デザイン学科	満20歳以上 ※登録には卒業後の 実務経験（2年以上）が必要。 ただし、クラフトデザイン コースについては、 更に特定科目の修得が必要。
商業施設士	受験資格	建築・環境デザイン学科	卒業後の実務経験
測量士補	申請による 資格取得	都市創造工学科	測量学1、測量学実習を含む。 測量士補に関する科目を修得および 卒業 ※実務経験により測量士の資格取得可
社会福祉主事	任用資格	全学科	特定科目の修得および卒業
社会保険労務士	受験資格	全学科	卒業要件に必要とする62単位以上修得
公認会計士	一次試験免除	全学科	卒業または2年以上在学かつ44単位以上修得

(3) 本学で実施する資格試験

資格の種類	対象学科	取得の要件・その他
日本商工会議所認定 簿記検定試験2・3・4級	全学科	試験合格（年3回実施されますが、 本学では6月と11月の年2回を学内で実施します。 申込方法は、掲示板でお知らせします。）
ガス溶接技能者	全学科	ガス溶接技能講習修了

07. 飛び級制度

飛び級制度とは、「学校教育法施行規則第70条第1項第4号」により導入された制度です。

大学院へ進む場合、大学を卒業してから大学院へ入学するのが一般的ですが、特に優秀な学生で、大学に3年以上在学し、かつ研究者として優れた資質を有する者に早期から大学院教育を実施する道をひらくのが飛び級制度です。

この制度を適用する場合、以下の「大学院学則」および「大学院学則の適用基準に関する工学研究科内規」に基づき実施されます。

この規程により大学院への入学資格を認められると、大学と大学院の両方に在籍することはできませんので、合格者はすみやかに在籍する大学の退学手続きをとり、大学院入学手続きをしてください。詳細についての問い合わせは、教務課に相談してください。

なお、種々の国家試験等の受験資格では、大学の学部卒業を要件としているものがあります。その場合は、不利となることを承知しておく必要があります。

参 考

—飛び級入学資格—

平成18年4月以降に工学部に入学した学生が飛び級での大学院入学資格を得るためには、以下の条件を全て満たしてください。

- ① 本学工学部に1年次より在学
- ② 4年次配当の必修科目を除く卒業要件単位を全て修得、かつ124単位以上修得
- ③ 全修得科目の平均点が88点以上
- ④ 当該学科で推薦

Chapter

02

STUDY PLAN-08K 編入生

01.履修制限	049
02.「卒業研究」について	050
03.修了要件単位数(外国人留学生も共通)	050
04.卒業見込証明書と卒業／履修要件	051

01. 履修制限

都市創造工学科の履修には次のような制限がありますので、注意してください。

08K編入生に適用

1年間に履修できる単位数	最大54単位(教職に関する専門教育科目を除く)
学年による科目の制限	1年次:1年次配当科目から選択できます。 2年次:1、2年次の配当科目から選択できます。 3年次:1、2、3年次の配当科目から選択できます。 4年次:すべての開講科目から選択できます。
専門教育科目	工学基礎・情報処理科目 (1)「基礎数学および演習」 入学時のプレイスメントテストの結果、「基礎数学および演習」を履修し、単位未修得の学生は後期再クラスを受講できます。 (2)「基礎物理学および演習」 入学時のプレイスメントテストの結果、「基礎物理学および演習」を履修し、単位未修得の学生は後期再クラスを受講できます。 (3)「基礎化学および演習」 入学時のプレイスメントテストの結果、「基礎化学および演習」を履修し、単位未修得の学生は後期再クラスを受講できます。

プレイスメントテストの点数が基準に満たない学生には、「基礎数学および演習」・「基礎物理学および演習」・「基礎化学および演習」を1年次前期に履修することを義務づけています(編入生除く)。いずれも都市創造工学科の科目を学ぶにあたって基礎となる重要な科目です。なお、単位未修得の場合には1年次後期開講の再履修クラスで受講し単位修得すること。単位修得ができない場合には4年間での卒業が困難となることがありますので留意してください。また、基礎科目(数学、物理学、化学)の修得には、「学習支援センター」を大いに利用し基礎学力のアップに努めてください。

総合教育 科 目	言語文化 科 目	(1) 修了要件単位は8単位以上(うち英語の修了要件単位を4単位以上)とします。(留学生を除く) (2) ドイツ語、フランス語、中国語を選択する学生は、それぞれ「ドイツ語入門1」、「フランス語入門1」、「中国語入門1」を最初に履修してください。 (3) 留学生は ① 母国語を履修することができません。 ② 日本語8単位を必修とします。
そ の 他		既に単位認定を受けている科目は、再度履修することはできません。

02. 「卒業研究」について

(1) 「卒業研究」を履修するには？

- ・卒業するためには、「卒業研究」（4年次配当科目）を修得しなければなりません。
- ・「卒業研究」を履修するためには、3年次修了までに履修資格を得ることが必要です。
- ・「卒業研究」の履修について質問や相談がある場合は、Web履修申請する前に教務課で相談してください。
- ・卒業予定者で、時間割上修了要件単位数を満たす履修申請ができない場合も、教務課で相談してください。

(2) 履修資格

「卒業研究」を履修するためには、3年次修了時において次の3つの条件を満たさなければなりません。

- ①修了要件単位数（124単位）のうち、100単位（編入生94単位）以上修得している。
- ②総合教育科目の修了要件単位24単位修得している。
- ③専門必修科目の実験・実習の未修得単位が2単位以内である。

—参考—（「卒業研究」履修資格を得るために必要な科目）

科 目 名	単 位 数	備 考
物理学実験	②	「卒業研究」を履修するために、左記7科目を履修し、単位を修得すること。
測量学実習	②	
建設材料実験	①	
土質実験	①	
水理実験	①	
衛生実験	①	
都市創造デザイン2	①	

03. 修了要件単位数（外国人留学生も共通）

修了要件単位 124単位

総合教育科目	教養教育科目	表現力基礎演習（全員履修）			24単位以上	124単位	学士（工学）
		人 文 社 会 分 野 社 会 科 学 分 野 自 然 科 学 分 野 学 際 領 域 分 野	指定選択科目の中から6科目以上を含む				
		日本文化（留学生に限る）		（必須4科目）			
	言語文化科目	英 語（4単位以上）		8単位以上			
		初修外国語	ド イ ツ 語 フ ラ ン ス 語 中 国 語		指定する科目の中から8科目以上を含む		
		日 本 語（留学生に限る）			（必須8科目）		
身 体 科 学 科 目		指定する科目の中から2科目以上					
専門教育科目	専門の各分野で指定する科目の中から修得（自由科目4単位を含む。）				92単位以上		
4 年 以 上 在 学							

（単位修得にあたっての留意事項）

- ①単位の修得にあたっては、講義科目は2/3以上、実験・実習・演習科目は3/4以上の出席を最低条件としています。
- ②都市創造工学科では、学科の学習・教育目標に基づき修了要件の科目を指定し、学習保証時間を定めております。
- ③科目履修は学科教員の指導のもとに履修申請をすること。
- ④学習保証時間の確保のために、前期・後期ともに最低15週（回）の授業（試験を含む）を行います。
- ⑤15週（回）を確保するため、学年暦にかかわらず補講を行います。
- ⑥留学生は、教養科目分野の日本語文化および言語文化科目の日本語を必修とする。ただし、「表現力基礎演習」については、随時選択科目とする。
- ⑦基礎科目を履修する学生は1年次前期に単位を修得すること。未修得の場合4年間で卒業できないこともあります。

04. 卒業見込証明書と卒業／履修要件

(1)「卒業研究」と「卒業見込証明書」

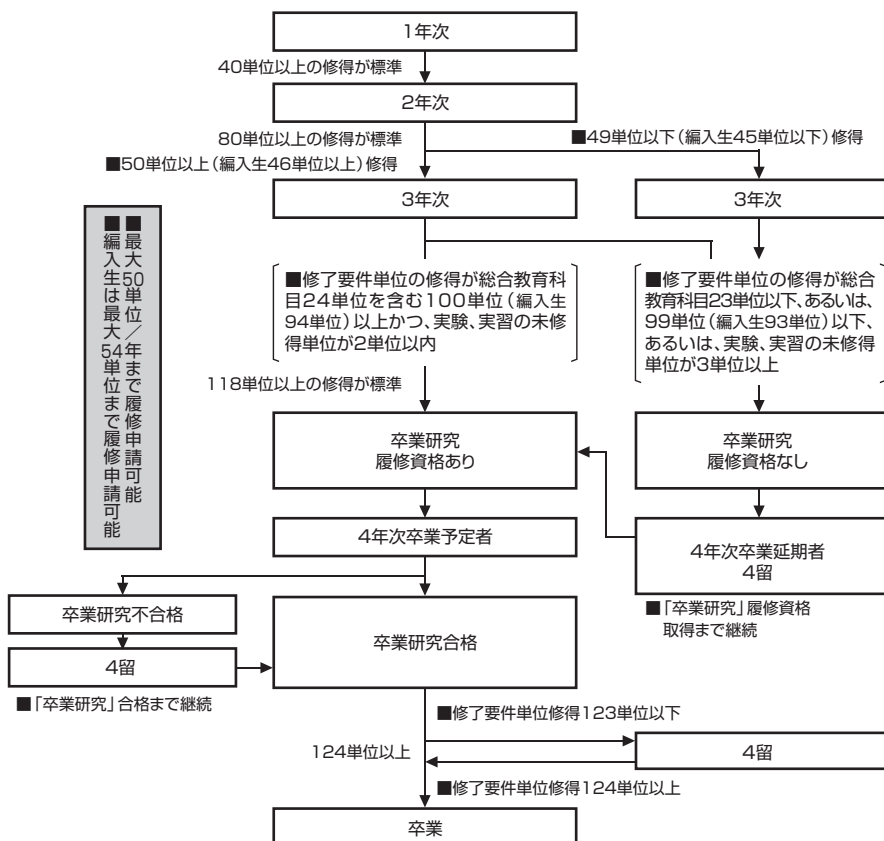
「卒業研究」の履修資格を得た学生を、卒業予定者と呼び、4年次になった4月から卒業見込証明書の交付を受けることができます。

卒業見込証明書は、就職活動のために訪れる企業などに提出するものです。必要な人は、証明書自動発行機(本館1階、13号館1階)を利用してください。

(2) 進級の条件

修得単位数に関する履修制限はありませんので、4年次まで進級は可能です。しかし、3年次修了時点で卒業研究履修資格の条件を満たしていなければ、4年間では卒業できなくなります。

なお、1年間で最大54単位の履修制限がありますので、計画的に修学してください。



(3)都市創造工学科の学習・教育目標達成のための卒業までの修了要件 (総合教育科目)

○指定選択必須 ●留学生必須

分野	科目名称	開講 年 期	単 位	学習・教育目標の 修了要件科目数	備考
教 養 教 育 科 目	表 現 力 基 礎 演 習	1前	2	指定選択必須11科目(○)の 中から「心理学」・「倫理学」・ 「文学」・「経済学の基礎」の中から 1科目以上とし、他の指定選択科 目(○)と合わせて6科目以上	○
	文 学	1前	2		○
	心 理 学	1前	2		○
	哲 学	1前	2		
	社 会 思 想 史	1前	2		
	論 理 学	1前	2		
	日 本 国 憲 法	1後	2		○
	現 代 の 政 治	1後	2		○
	経 済 学 の 基 礎	1後	2		○
	地 理 学	1後	2		○
	近 代 史	1後	2		
	物 質 科 学	1前	2		○
	宇 宙 科 学	1前	2		
	生 命 科 学	1前	2		
	環 境 科 学	1前	2		
	現 代 数 学 入 門	1前	2		
	科 学 技 術 史	1後	2		○
	外 国 の 社 会 と 文 化	1後	2		○
	倫 理 学 (工 業 倫 理 を 含 む)	1後	2		○
	時 事 問 題	1後	2		
	平 和 学	1前	2		
日 本 文 化	日 本 事 情 1	1前	②	留学生は左記4科目を全て修得	●
	日 本 事 情 2	1後	②		●
	日 本 の 社 会 と 文 化 1	1前	②		●
	日 本 の 社 会 と 文 化 2	1後	②		●
身 体 科 学 科 目	ス ポ ー ツ 科 学 実 習 1	1前	1		○
	ス ポ ー ツ 科 学 実 習 2	1後	1		○
	ス ポ ー ツ 科 学	2前	2		
	運 動 科 学	2後	2		

○、●印以外の科目は卒業要件単位に算入されません。

○指定選択必須 ●留学生必須

分野	科目名称	開講 年期	単位	学習・教育目標の 修了要件科目数	備考
言語文化科目	英語	英語 (Listening&Speaking) 1	1前	1	○
		英語 (Listening&Speaking) 2	1後	1	○
		英語 (Listening&Speaking) 3	2前	1	○
		英語 (Listening&Speaking) 4	2後	1	○
		TOEIC 上級 (Listening) 1	2前	1	○
		TOEIC 上級 (Listening) 2	2後	1	○
		英語 (Reading&Writing) 1	1前	1	○
		英語 (Reading&Writing) 2	1後	1	○
		英語 (Reading&Writing) 3	2前	1	○
		英語 (Reading&Writing) 4	2後	1	○
		TOEIC 上級 (Reading) 1	2前	1	○
		TOEIC 上級 (Reading) 2	2後	1	○
		英 語 総 合 1	3前	1	
		英 語 総 合 2	3後	1	
		英 語 海 外 研 修 (集 中)	2集	2	
	初級外国語	ド イ ツ 語 入 門 1	1前	1	○
		ド イ ツ 語 入 門 2	1後	1	○
		ド イ ツ 語 初 級 1	2前	1	○
		ド イ ツ 語 初 級 2	2後	1	○
		ド イ ツ 語 総 合 1	3前	1	
		ド イ ツ 語 総 合 2	3後	1	
		ドイツ語海外研修(集中)	2集	2	
		フ ラ ン ス 語 入 門 1	1前	1	○
		フ ラ ン ス 語 入 門 2	1後	1	○
		フ ラ ン ス 語 初 級 1	2前	1	○
		フ ラ ン ス 語 初 級 2	2後	1	○
		フ ラ ン ス 語 総 合 1	3前	1	
		フ ラ ン ス 語 総 合 2	3後	1	
		フランス語海外研修(集中)	2集	2	
	中国語	中 国 語 入 門 1	1前	1	○
		中 国 語 入 門 2	1後	1	○
		中 国 語 初 級 1	2前	1	○
		中 国 語 初 級 2	2後	1	○
		中 国 語 総 合 1	3前	1	
		中 国 語 総 合 2	3後	1	
		中国語海外研修(集中)	2集	2	
	日本語	日 本 語 読 解 1	1前	①	●
		日 本 語 読 解 2	1後	①	●
		上 級 日 本 語 読 解 1	2前	①	●
		上 級 日 本 語 読 解 2	2後	①	●
		日 本 語 作 文 1	1前	①	●
		日 本 語 作 文 2	1後	①	●
		上 級 日 本 語 作 文 1	2前	①	●
		上 級 日 本 語 作 文 2	2後	①	●

指定選択必須科目(○)の中から
英語を4科目以上を含む、
8科目以上。

留学生は左記8科目を全て修得

(4) 都市創造工学科の学習・教育目標達成のための卒業までの修了要件 (専門科目)

○指定選択必須

◎必須

分野	科目名称	開講 年次	単位	学習・教育目標の 修了要件科目数	備考
工学基礎・ 情報処理	基礎数学および演習	1前	3	必須科目(◎)を含む10科目以上	○
	解析・代数学1および演習	1前	3		○
	解析・代数学2および演習	1後	③		◎
	解析・代数学3および演習	2前	2		○
	工学基礎数学1	2前	②		◎
	工学基礎数学2	2後	②		◎
	基礎物理学および演習	1前	2		○
	物理学	1前	②		◎
	物理学実験	1前	②		◎
	基礎化学および演習	1前	2		○
	一般化学	1前	2		○
	化学実験	1前	2		○
	コンピュータ基礎	1前	②		◎
	コンピュータ応用	1後	2		○
専門基礎	コンピュータ設計演習(設計製図含む)	3後	②		◎
	都市創造入門セミナー	1前	①	必須科目(◎)を含む5科目以上	◎
	測量学	1前	②		◎
	測量学	2	1後		○
	測量学実習	1通	②		◎
	地球科学	1前	②		◎
建設材料学	環境生態	1前	②		◎
	建設材料1	2前	②	必須科目(◎)を含む2科目以上	◎
	建設材料2	2後	2		○
	建設材料実験	3半	①		◎
	鉄筋コンクリート	3前	2		○
	鉄筋コンクリート演習	3前	2		○
構造力学	舗装工	3前	2		○
	つりあいの力学	1後	②	必須科目(◎)を含む2科目以上	◎
	構造力学1	2前	②		◎
	構造力学2	2後	2		○
	構造力学演習	2前	2		○
	橋梁工学	3後	2		○
土質力学	骨組構造力学	3後	2		○
	土の力学	2前	②	必須科目(◎)を含む3科目以上	◎
	土質力学1	2後	②		◎
	土質力学2	3前	2		○
	土質力学演習	2後	2		○
	土質実験	3半	①		◎
	地盤工学	3後	2		○

○指定選択必須

◎必須

分野	科目名称	開講 年次	単位	学習・教育目標の 修了要件科目数	備考
水工水理学	流　　れ　　の　　力　　学	1後	②	必須科目(◎)を含む3科目以上	◎
	水　　理　　学	1	2前		◎
	水　　理　　学	2	2後		○
	水　　理　　学　　演　　習	2前	2		○
	水　　理　　実　　験	3半	①		◎
	河　　川　　工　　学	3前	2		○
	海　　岸　　工　　学	3後	2		○
土木計画・ 交通システム工学	土　　木　　計　　画　　学	3前	②	必須科目(◎)を含む2科目以上	◎
	交　　通　　工　　学　　演　　習	3後	2		○
	情　報　社　会　基　盤　学	3前	2		○
	交　通　シ　ス　テ　ム　工　学	2前	②		◎
	都　　市　　計　　画	3前	2		○
	道　路　交　通　工　学	2後	2		○
環境工学	環　境　工　学	1	2前	必須科目(◎)を含む2科目以上	◎
	環　境　工　学	2	2後		○
	衛　　生　　実　　験	3半	①		◎
	環　境　シ　ス　テ　ム	3前	2		○
	資　源　リ　サ　イ　ク　ル	3後	2		○
専　門 総　合	建　設　施　工　学	3前	2	必須科目(◎)および「建設施工学」・ 「特別講義1」・「地域創造学」から 2科目以上を含む5科目以上	○
	建　設　マ　ネ　ー　ジ　メ　ン　ト	4前	2		○
	防　　災　　工　　学	3前	2		○
	地　　震　　工　　学	3前	2		○
	特　別　講　義	1	2後		○
	特　別　講　義	2	2後		○
	地　域　創　造　学	2後	2		○
	キ　ャ　リ　ア　デ　ザ　イ　ン	3後	1		○
	建　築　学　概　論	3前	2		○
	工　　学　　英　　語	3後	②		◎
	工　　学　　倫　　理	2後	②		◎
	都　市　創　造　デ　ザ　イ　ン	1	2後		◎
	都　市　創　造　デ　ザ　イ　ン	2	3後		◎
卒研	卒　　業　　研　　究	4通	⑥	必　須	◎

都市創造工学科カリキュラム推移モデル表（学科の学習・教育目標に基づく）

分野		1年次		2年次		3年次		4年次		指定選択必須
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
教養教育科目	人文科学分野	表現力基礎演習 文学 心理学								備考 左記11科目のうち「心理学」・「倫理学」・「経済学の基礎」・「文学」から1科目以上とし、他の科目とあわせて6科目以上
	社会科学分野		日本国憲法 経済学の基礎 日本国憲法 現代の政治							
	自然科学分野	物質科学								
	学際領域分野		科学技術史 倫理学（工業倫理含む） 外国の社会と文化							
	日本文化 （留学生科目）	日本事情1 日本の社会と文化1	日本事情2 日本の社会と文化2							
言語文化科目	英語	英語L&S1	英語L&S2	英語L&S3	英語L&S4 TOEIC上級（L）1 TOEIC上級（L）2					留学生は左記4科目を全て修得
		英語R&W1	英語R&W2	英語R&W3	英語R&W4					
		ドイツ語入門1	ドイツ語入門2	TOEIC上級（R）1 ドイツ語初級1	TOEIC上級（R）2 ドイツ語初級2					
		フランス語入門1	フランス語入門2	フランス語初級1	フランス語初級2					
	初修外国語	中国語入門1	中国語入門2	中国語初級1	中国語初級2					
身体科学科目	日本語 （留学生科目）	日本語読解1 日本語作文1	日本語読解2 日本語作文2	上級日本語読解1 上級日本語作文1	上級日本語読解2 上級日本語作文2					留学生は左記8科目を全て修得
	スポーツ科学実習	スポーツ科学実習1	スポーツ科学実習2							

指定選択必須

◎必須

分野	1年次		2年次		3年次		4年次		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
数学	解析・代数学1 および演習	◎解析・代数学2 および演習	解析・代数学3 および演習	◎工学基礎数学2					必須科目(◎)を含む10科目以上
	基礎数学 および演習	解析・代数学1 および演習	◎工学基礎数学1	◎工学基礎数学2	◎解析・代数学2 および演習	(◎工学基礎数学1) (◎工学基礎数学2)			
自然科学	◎物理学								
	基礎物理学 および演習	(◎物理学)							
	(◎物理学実験)	◎物理学実験							
	一般化学	化学実験							
情報処理技術	基礎化学 および演習	(一般化学)							◎コンピュータ設計演習
	◎コンピュータ基礎	コンピュータ応用							

都市創造工学科カリキュラム推移モデル表（学科の学習・教育目標に基づく）

分 野	1年次				2年次		3年次		4年次		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
	◎必須指定 選択必須										
(専門基礎)	意匠導入セミナー ◎測量学1 ◎測量学2 ◎地球科学 ◎環境生態	◎測量学2 ◎測量学演習									必須科目(◎)を含む5科目以上
			◎建設材料1	◎建設材料2							必須科目(◎)を含む2科目以上
(構造力学)		◎つりあいの力学	◎構造力学1 ◎構造力学演習 ◎つりあいの力学	◎構造力学2 ◎つりあいの力学							必須科目(◎)を含む2科目以上
(地盤工学)			◎土の力学	◎土質力学1 ◎土質力学演習 ◎土の力学							必須科目(◎)を含む3科目以上
(水工水理学)		◎流れの力学	◎水理学1 ◎水理学演習 ◎流れの力学	◎水理学2 ◎水理学1 ◎水理学演習							必須科目(◎)を含む3科目以上
(土木計画・ 交通システム工学)			◎交通システム工学 ◎道路交通工学	◎土木計画学 ◎土木計画学演習							必須科目(◎)を含む2科目以上
(環境工学)			◎環境工学1	◎環境工学2							必須科目(◎)を含む2科目以上
(専門総合)				◎特別講義1 ◎特別講義2 ◎地域創造学 ◎工学倫理 ◎都市創造デザイン1	◎建設施工学 ◎地盤工学 ◎建築学概論 ◎工学英語 ◎都市創造デザイン2						必須科目(◎)および「建設施工学」・ 「特別講義1」・「地域創造学」から2 科目以上を含む5科目以上
(卒業研究)											必須科目(◎)